

## <2年生 家庭基礎>

### 「孤独・孤立」について考えよう

2023年 内閣府は調査をし、15～64歳のひきこもりの人は、全国に推計 146 万人と3月に公表した。社会で孤独を感じる人や孤立する人を支援する「孤独・孤立対策推進法」が 5 月に成立した。2021年には、日本ではイギリスに次いで世界で 2 番目に「孤独・孤立対策担当大臣」が任命されている。政府は、厚生労働省の自殺対策、生活困窮者やひきこもり状態にある人を支援している NPO などに総額約 60 億円の予算措置をしている。

1 自分の住んでいる市では、「孤独・孤立対策」にどのような取り組みがあるか調べよう。

2 「孤独・孤立」の具体例から考えよう 動画「54歳引きこもりの娘と無職の兄63歳91歳父の死で変化は」

<https://www.youtube.com/watch?v=kWbbhVkCtqI>

(1) メモを取りながら動画を見よう

① この家族はどんなひとたちか。

敬子(54歳)

兄(63歳)

父(91歳)

弟(57歳)

(2) この家族についてグループで話し合ってみよう

① 3人(敬子さん、父、兄)はどんな暮らしをしていたか

② 敬子さんとお兄さんはなぜ引きこもってしまった(置いてけぼり)ののだろうか

③ この家族が困っていたことはどんなことか

### 3 社会的孤立「引きこもり問題」とは

「ひきこもり」問題とは

#### 1 「8050」問題

1980年代 ⇒ 「引きこもり＝若者」といわれ、引きこもりは10代～20代の若者が中心だった。

現 在 ⇒ 引きこもる子どもが40～50代となり親が70代～80代となった。「(1. )問題」

・子どもの「ひきこもり」から「80」代の親が「50」代の子どもの生活を支えるという問題。

・「ひきこもり」という言葉が社会にではじめるようになった 1980 年代～90 年代は若者の問題とされていた

・約 30 年が経ち、当時の若者が 40 代から 50 代、その親が 70 代から 80 代となり、長期高齢化している。こうした親子が社会的に孤立し、生活が立ち行かなくなる深刻なケースが目立ち始めている。

・2018 年1月、札幌市中央区のアパートで82歳の母親と52歳の娘がともに遺体で見つかった。死因はいずれも栄養失調による衰弱死で、近所の人話では、娘は10年以上ひきこもり、近所付き合いはほとんどなく、高齢の母親が娘の生活を支えていたということである。

\*2019 年に起きた元農水事務次官の事件など、相次いで起きる「8050 問題」が社会問題化している。

#### 4 引きこもり(置いてけぼり)は自己責任だろうか

※自分の意見を書いてみよう

### 5 社会的排除

#### (1)社会的排除とは、

・社会参加やアイデンティティを形成する権利から個人が排除されていくこと。

・社会的交流から排除されていく。

・居住、教育、保健、医療、その他の社会的サービスへのアクセスが困難になる。

近年、欧州では、「社会的排除」という視点から貧困問題は語られるようになってきた。「お金があるかどうか」だけが問題なのではない。その人が(2. )として扱われているかどうかを問題にする考え方

#### (2)敬子さんのような「社会的排除の例」を考えてみよう

例えば学校では…